

2024年4月12日

2023年度人文社会科学部後援会支援事業報告書

人文社会科学部地域志向教育プログラム
プロジェクト演習
MPP チーム

1：活動内容

人文社会科学部地域志向教育プログラムを構成する PBL 授業「プロジェクト演習」では、地域の方々から戴いた課題について 1 年間にわたりチームで取り組むことを通じて、社会人基礎力 (<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>) の育成を目指しています(図 1)。2023 年度は「さとみ・あい」、「こみフェス」、「MPP」の 3 チームが活動しました。

このうち MPP(水戸でポタリングプロジェクト)チームは、水戸市交通政策課からの課題提案を受けて、水戸市のシェアサイクル「みとちやり」の利用拡大策の企画・実施に取り組みました。具体的な活動は(1)みとちやり利用者を主たる対象とした「みとちやり 2024 ポタリングマップ」の作製(図 2)、(2)茨城大学水戸キャンパスへの水戸ちやりステーション(シェアサイクルの受け渡し場所)設置(図 3)、(3)水戸市交通政策課、JAF 茨城支社、本学広報室等と連携しての、各種媒体やイベント参加による水戸ちやりの広報活動の 3 つです。

- (1)は 2024 年 3 月末に完成し、水戸市、JAF 茨城支社を通じて配布が行われています。
- (2)は 2023 年 10 月に水戸キャンパス南第一通用門付近に設置され、高い稼働率を上げています。
- (3)は①水戸市広報誌『広報みと』取材(5月)と同6月1日号への特集記事(全5ページ)掲載(図4)、②本学広報室からのインタビューとHP掲載(6月・図5)、③水戸市環境フェア参加(8月・図6)、④ラッキーFM茨城放送「CONNECT ゆっきーのチャリンコ日和」出演(11月・図7)、⑤JAF 茨城支部催事参加(2月・於大洗水族館)等に加え、チーム独自の SNS(図8)を通じても情報発信を行い、相応の広報効果を発揮したものと受け止めております。

2：実施期間

2023年4月～2024年3月

3：チームメンバー 3年生6名、2年生2名

4：後援会から戴いたご支援の内容

上記(2)のマップ作製に先立ち、市内各地で取材活動を行いました。この内、バスを利用した際のバス代(11,032円)をご支援戴きました。ありがとうございました。

5：特記事項

2023 年度 iOP アワードにエントリーし、優秀賞を戴きました(図 9)。iOP アワードは、全学で大賞 1 件、優秀賞 2 件が選出されますので、MPP チームは全学で 2 位という榮譽を戴いたこととなります。ご支援に篤く御礼申し上げます。

図 1：プロジェクト演習 HP
 (<http://pbl.hum.ibaraki.ac.jp/project/project.html>)



図 2：みとちやり 2024 ポタリングマップ



図 3：茨城大学水戸キャンパス・みとちやりステーション



* 本学 HP (<https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/10/19012129.html>) で速報

図 4：『広報みと』2023年6月1日号（ここでは、全5頁中の3頁を掲載しています）



* 水戸市 HP (<https://www.city.mito.lg.jp/site/kouhoumito/51285.html>) にも掲載

図 5 : 本学 HP 掲載

2022 年度の活動の成果紹介と 2023 年度の活動計画について、紹介されました。

(https://www.ibaraki.ac.jp/news/2023/06/16012012.html?fbclid=IwAR0_W3uCUpyRjp_9lhzdkmvPQ9oF3kr2NgAiy_RBZ-maPUvGyCAdViCyPLgI)



図 6 : 水戸市環境フェア（於:市民会館）



図 7：ラッキーFM 茨城放送出演



図 8：チームの SNS

以下の 2 つの SNS を使って、積極的に情報発信を進めました。

(1)水戸でポタリングプロジェクト X (旧 Twitter)

<https://twitter.com/mitoputtering>

(2)水戸でポタリングプロジェクト Instagram

<https://www.instagram.com/mitoputtering/>



図 9 : 2023 年度 iOP アワード優秀賞受賞

